

医薬品適正使用の情報源

## 注射薬配合変化データ検索 2009

CD-ROM「けんさく君2009」付  
—注射薬配合変化早見・改題—

監修 前国立国際医療センター薬剤部長 吉野 信次

編集 独立行政法人国立病院機構東京医療センター薬剤科 齊藤真一郎  
国立国際医療センター・戸山病院薬剤部  
澤井 孝夫 増田 純一 岡田 美晴  
丸谷 晶美 百武 宏志 中村 真依

株式会社 薬事新報社

医薬品適正使用の情報源

# 注射薬配合変化データ検索 2009

CD-ROM「けんさく君2009」付  
注射薬配合変化早見・改題

監修

前国立国際医療センター薬剤部長 吉野 信次  
編集

独立行政法人国立病院機構東京医療センター  
薬剤科 齊藤真一郎

国立国際医療センター戸山病院薬剤部  
澤井 孝夫 増田 純一 岡田 美晴  
丸谷 晶美 百武 宏志 中村 真依

2009年6月1日発行 B5判 210頁  
定価4,935円(本体4,700円+税)

送料別

ISBN978-4-946344-10-7

2005年以来、4年ぶりの大改訂  
注射薬製剤、配合変化、調製について詳説  
さらに一覧できるよう附表を掲載  
「乳酸を含有する薬剤一覧」等々21項目  
CD-ROMに配合変化データ検索ソフトを収録  
(けんさく君2009)  
1,477品目、配合変化データ28,527件を網羅  
(約900品目、10,000データ増)

書籍のお申し込みは FAX 03(3663)2642へ

図書名 注射薬配合変化データ検索2009  
(CD-ROM「けんさく君2009」付)

冊数 \_\_\_\_\_ 冊 合計金額 \_\_\_\_\_ 円  
郵便番号 〒 \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_  
施設名 \_\_\_\_\_  
部科 \_\_\_\_\_  
担当者氏名 \_\_\_\_\_  
電話番号 \_\_\_\_\_

株式会社 薬事新報社 電話 03(3663)2641  
103-0023 東京都中央区日本橋本町3-7-8  
<http://www.yakujishinpo.co.jp/>

# CD-ROM「けんさく君2009」について

検索の利便性と多面的な情報提供を可能とするため、配合変化検索にはCD-ROMに収録されている「けんさく君2009.chm」を利用してください。

ソフトはWindows上のヘルプシステム「Microsoft Compiled HTML Help」を利用しており、目次タブと検索タブから検索できます。

## 目次タブの検索画面

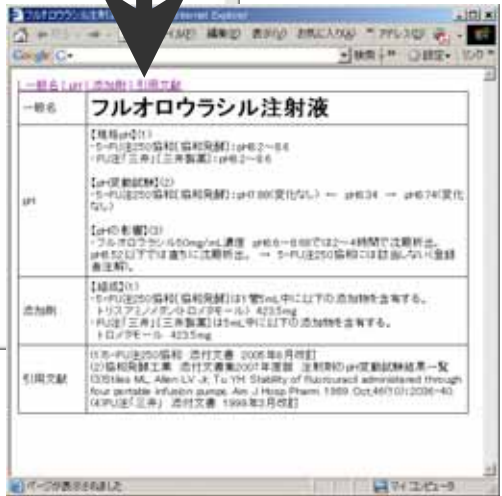


× をクリックすると  
詳細が表示されます

「けんさく君2009」の画面  
配合変化結果が × で  
一目瞭然

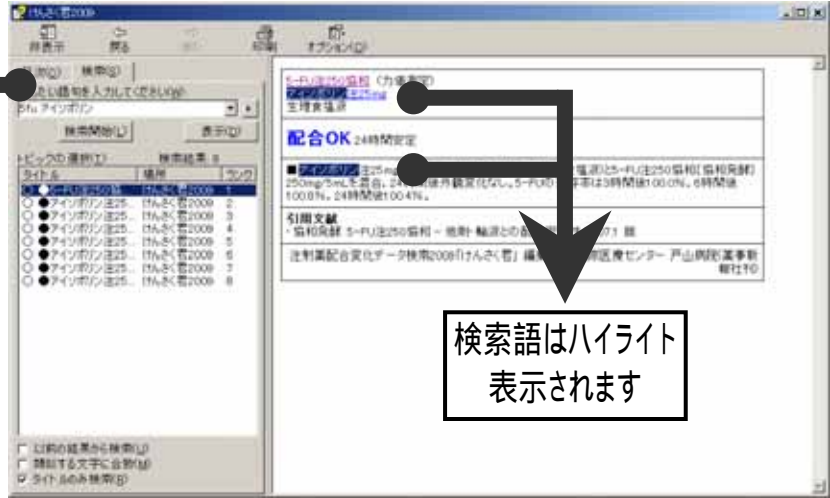


各薬剤をクリックすると  
詳細画面がIEで開きます

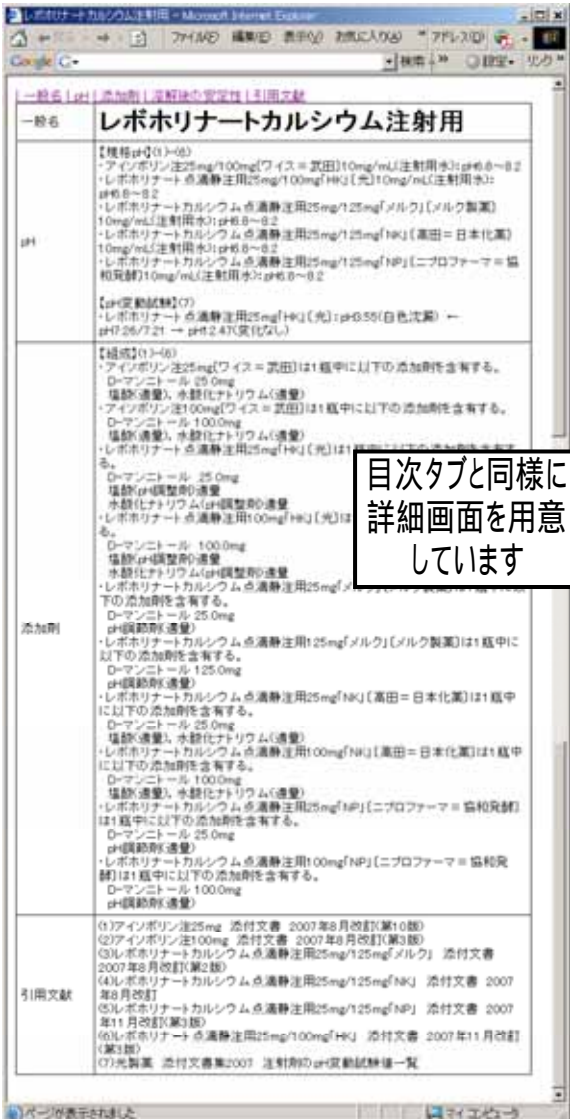


検索タブの検索画面

検索語の入力は製品名、  
一般名、略語に対応  
しています。

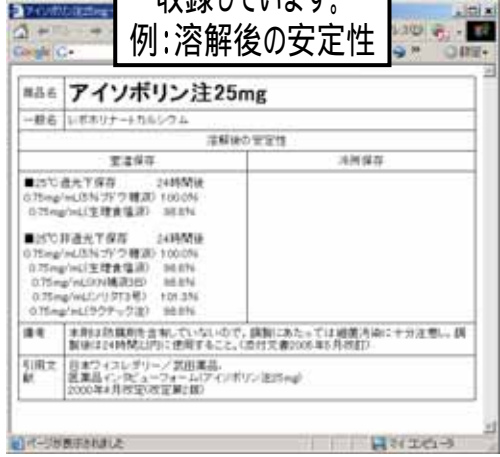


検索語はハイライト  
表示されます



目次タブと同様に  
詳細画面を用意  
しています

他にも役立つ情報を  
収録しています。  
例：溶解後の安定性



CD-ROM「けんさく君2009」

編集 国立国際医療センター戸山病院  
株式会社 株薬事新報社

# 目次

## 章 総論

- 1 注射薬製剤について
  - 1.1 注射剤の種類と適応
  - 1.2 注射剤の種類
  - 1.3 注射剤の投与方法
  - 1.4 滅菌法及び無菌操作法
  - 1.5 添加剤
- 2 配合変化について
  - 2.1 配合変化の分類
  - 2.2 吸着・ルートの材質・フィルターについて
- 3 調製
  - 3.1 シリンジ
  - 3.2 シリンジの種類・材質
  - 3.3 プラスチックシリンジの容量と許容誤差
  - 3.4 ルアーの種類
  - 3.5 注射針
  - 3.6 コアリング
  - 3.7 混合方法, 溶解液
- 4 略号一覧

## 章 操作の説明

- 1 「けんさく君2009」の操作
  - 1.1 システムの起動と終了方法
  - 1.2 画面の説明
  - 1.3 検索結果
  - 1.4 注射薬特性ファイル

## 章 附表

- 1 乳酸を含有する薬剤一覧
- 2 カルシウムを含有する製剤一覧
- 3 システインまたはシスチンを含有する薬剤一覧
- 4 ビタミン(B2, C)を含有する薬剤一覧
- 5 マグネシウムを含有する薬剤一覧
- 6 リン酸を含有する薬剤一覧
- 7 炭酸を含有する薬剤一覧
- 8 アミノ基を有する注射薬
- 9 カルボキシル基を有する注射薬
- 10 亜硫酸塩を含有する薬剤一覧
- 11 輸液製剤の材質と予備容量
- 12 総合電解質液
- 13 低張電解質液
- 14 細胞外液補充液
- 15 アミノ酸製剤
- 16 脂肪乳剤
- 17 TPN用総合ビタミン剤
- 18 pH4 未満の注射薬
- 19 pH4 以上 6 未満の注射薬
- 20 pH8 以上 10 未満の注射薬
- 21 pH10 以上の注射薬

## 索引

# 1 注射薬製剤について

## 1.1 注射剤の種類と適応

第 15 改正日本薬局方製剤総則において、注射剤は次のように定義されている。

注射剤は、皮膚内又は皮膚若しくは粘膜を通して体内に直接適用する医薬品の溶液、懸濁液、乳濁液又は用時溶剤に溶解若しくは懸濁して用いるもので、無菌の製剤である。

注射剤は体内に直接注入する剤形であり、含量の均一性の確保が重要であることから、均一性の確保は製剤均一試験法で定義されている。また、注射剤の表示量の確保には薬液になっている注射剤、輸液用注射剤に適用される注射剤の採取容量試験法で定義されている。

製剤均一試験法は第 14 改正日本薬局方で初めて記載された試験法で、第 14 改正日本薬局方で個別に記載されていた含量均一性試験、質量偏差試験を統合したものである。本試験法の目的は、個々の製剤について一定の治療効果を保証するために、製剤中の有効成分の含量が表示量を中心として望ましい範囲に収まっていることを保証するためのものである。

採取容量試験法は第 15 改正日本薬局方で初めて記載された試験法で表示量よりやや過剰に採取できる量が容器に充填されていることを確認するものである。本試験法には上限が示されていないが、表示量より過大に投与されると安全性の観点から問題が生じるとされる。第 14 改正日本薬局方においては製剤総則の注射剤の項に次のように記載されている。

薬液の実容量は表示量よりやや過量で、表示量を注射するにたりる量である。

薬液を 1 回用容器に入れる場合、その過量は、通例、表 1 による。本剤 10 個をとり、平均実容量を求めるとき、上表規定による表示量及び過量の和の 107% 以下である。また、個々の注射剤は表示量以上で、表示量及び過量

## 18 pH4 未満の注射薬

(規格pHの平均値を中央値とした)

商品名	一般名	中央値	規格pH
アクタミン注射液	塩酸チアミン	3.5	pH2.5~4.5
アシアロシンチ注	ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム(99mTc)	3.25	pH2.5~4.0
アジリース注	ジピリダモール	2.75	pH2.5~3.0
アデロキシ注射液	塩酸ピリドキシリン	3.25	pH3.0~3.5
アトニン-0注	オキシトシン	3.5	pH2.5~4.5
アプロバン注射液	塩酸ニカルジピン	3.75	pH3.0~4.5
アヘンアルカロイド・アトロピン注射液	アヘンアルカロイド・アトロピン注射液	3	pH2.5~3.5
アヘンアルカロイド塩酸塩注射液	塩酸アヘンアルカロイド	3	pH2.5~3.5
アヘンアルカロイド・スコポラミン注射液	アヘンアルカロイド・スコポラミン注射液	3	pH2.5~3.5
アポブロン注	レセルピン	3.25	pH2.5~4.0
アラセナ-A点滴静注用300mg	ビダラビン	3.35	pH3.0~3.7 300mg/250mL (生理食塩液)
アリナキシンF注射液	塩酸フルスルチアミン	3.8	pH3.3~4.3
アリナミンF100注	塩酸フルスルチアミン	3.5	pH2.7~4.3
アリナミンF5, 10注	塩酸フルスルチアミン	3.65	pH3.0~4.3
アリナミンF25注, 50注	塩酸フルスルチアミン	3.8	pH3.3~4.3
アリナミン注射液10mg	プロスルチアミン	3.5	pH3.0~4.0
アルチバ静注用	塩酸レミフェンタニール	3	pH2.5~3.5 1mg/1mL(注射用水)
アロテック注射液	硫酸オルシブテリン	3.5	pH3.0~4.0
アンパック注	塩酸モルヒネ	3.75	pH2.5~5.0
イセジビール注	塩酸ニカルジピン	3.75	pH3.0~4.5
インデラル注射液2mg	塩酸プロプラノロール	3.15	pH2.8~3.5
エコナール注	フマル酸ニゾフェノン	3.5	pH3.0~4.0
エスアリネート注射液(50mg)	塩酸フルスルチアミン	3.8	pH3.3~4.3
エピネフリン注0.1%シリンジ「テルモ」(1mL)	エピネフリン	3.65	pH2.3~5.0
エピペン注射液	アドレナリン	3.6	pH2.2~5.0
エルゴメトリン注射液F	マレイン酸エルゴメトリン	3.1	pH2.7~3.5
塩酸チアミン注「フソー」	塩酸チアミン	3.5	pH2.5~4.5
塩酸チアミン注射液(ツルハラ)	塩酸チアミン	3.5	pH2.5~4.5
塩酸ドブタミン注100mg	塩酸ドブタミン	3	pH2.7~3.3
塩酸ナロキソン注射液「三共」	塩酸ナロキソン	3.75	pH3.0~4.5
塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g	塩酸バンコマイシン	3.5	pH2.5~4.5 5mg(力価)/1mL (生理食塩液)
塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	塩酸バンコマイシン	3.5	pH2.5~4.5 5mg(力価)/1mL (生理食塩液)
塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「メルク」	塩酸バンコマイシン	3.5	pH2.5~4.5 50mg(力価)/1mL (注射用水)
塩酸B1注10mgシリンジ「NP」	塩酸チアミン	3.5	pH2.5~4.5
塩酸B1注「ヒシヤマ」10mg	塩酸チアミン	3.5	pH2.5~4.5
塩酸モルヒネ注射液	塩酸モルヒネ	3.75	pH2.5~5.0
塩酸モルヒネ注射液「タナベ」	塩酸モルヒネ	3.75	pH2.5~5.0
塩酸モルヒネ注射液「シオノギ」	塩酸モルヒネ	3.75	pH2.5~5.0
オキシトシン注射液F	オキシトシン	3.5	pH2.5~4.5

組 見 本

## 週刊・薬事新報 (木曜日発行)

病院・診療所、保険薬局専門の週刊情報誌

【白頁・学術記事】 抗癌剤の混合調製業務、外来化学療法取り組み、NSTと薬剤師、病棟活動、持参薬管理、感染防止対策、漢方薬の医薬品情報と服薬指導、病態生理と薬物療法、フラッシュ製薬企業、新薬プロフィール、研修会記事...ほか。

【緑頁・ニュース】 藤井基之、とかしきなおみ国会レポート、日本病院薬剤師会・各県病院薬剤師会・日本薬剤師会の活動状況。県病薬総会・研修会、中医協、薬学教育問題、厚生労働省の動き、製薬企業新薬開発状況、薬業界の人事異動...ほか。

## 薬事新報購読料金表 (前金制)

普通号 1冊定価 735円 (郵送料、税込み)

特集号 1冊定価 882円 (郵送料、税込み)

期間12ヵ月 (52冊) 定価38,808円

内訳：普通号 48冊代 35,280円

特集号 4冊代 3,528円

期間6ヵ月 (26冊) 定価19,404円

内訳：普通号 24冊代 17,640円

特集号 2冊代 1,764円

## 【新規申し込みの先生へ】

薬事新報新規ご購入お申し込み (半年以上) の先生は、下記図書のうちからご希望の書籍を1冊お選び下さい。無料にて寄贈致します。

イラスト新選医療用語 (A6判、336頁、4,620円)

弘前大学教授薬剤部長・菅原和信編集

主要疾患・治療と薬剤ハンドブック (B6判、470頁、4,410円) 帝京大学内科教授・山内俊一監修

## 【推薦の言葉】薬事新報に期待します

日本病院薬剤師会専務理事 関口久紀

医療抜本改革の議論はどこかよその世界の話ではなく、薬剤師一人ひとりの問題であることを理解しなければなりません。そのためには抱負でかつ正確な情報を持たねばなりません。

薬事新報は、特に広範な情報を薬剤師との関連で分かりやすく伝えてくれる貴重なメディアであります。日常業務の中で、また薬剤師職能のあり方について考えるための情報源として活用されることを推薦いたします。

全国各地でご活躍いただく先生方には是非とも読んで頂きたい週刊誌です。

日本病院薬剤師会前専務理事 加野弘道

病院薬剤師としての主張、意見、警告などが自由に述べられている反面、親しみやすい記事も掲載されております。自分がそうだったように、若い人たちも学術記事、或いは自由な意見を投稿されることを期待します。

## 薬事新報購読申込書

週刊・薬事新報を 年 月から、 年 月まで購読申し込み致します

郵便番号 〒 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

施設名 \_\_\_\_\_

部 科 \_\_\_\_\_

担当者氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

ご希望図書 \_\_\_\_\_

お申し込みはFAXで、03(3663)2642へ